

和の光



宝塚市立西谷中学校

このごろ思うこと

私の夢はたくさんある。「保母さん」「ピアノの教師」「漫画家」…。でも夢はたくさんあるけど、そのためにはいっぱい勉強しなければいけない。それなら勉強したらいいだろう!?と思うかも知れないけれど、私は夢が多いわりに勉強は嫌いなのだ。

勉強は楽しい!?という人がいるけれど、わたしは勉強には全然なじめない。それならいつも何をしているのかというと、家で漫画を描いたり、外へ遊びに行ったりしている。

今日は勉強しなあかんと思うけど、いつもそう思うだけでやらないで終わってしまう。こんなじゃあいけないと思うけど、結局こんなふうになってしまう。

私の友だちで、違うクラスの子だけど、ひとりでホームステイに行った子がいる。それもイギリスへ。英語もそんなにしゃべれないと言っていた。でもその勇気が本当にすごいと思う。私も英語が得意だったら行けたかな? いや、私は英語がしゃべれても、一人で行く勇気なんてなかったかも知れない。この友達は私と同じ中学2年生。本当にすごいと思う。

将来の夢はやはり勉強次第だと思う。勉強すればするほど、好きな仕事に就けるだろうし、損はしないと思う。だから私も自分から勉強が好きになれるように努力したい。私は夢が叶うように頑張りたいと思う。

中学2年生 横谷 麻美子(大阪市)
「わが子は中学生」より抜粋



この文章は皆さんと同じ中学生が書いたものです。読んでみてどのように感じましたか。

皆さんも「夢はあるけど、たぶん無理だろう」とか、「勉強が必要なことは分かっているけど、実行できない」といった気持ちになったことがあるのではないのでしょうか。皆さんの年齢が思春期と言われるように、悩みが多い時期だと思えます。それは、誰もが通る道です。**悩むということは人間として成長している証です。**具体的な学習手段のヒントになることをできるだけこの学校通信で紹介したり、生徒朝礼で話したりしていこうと考えています。決してあなたは一人ではありません、西谷中の仲間、そして先生方と私が側にいます。皆の力を合わせて夢や目標を実現していきましょう。

校長 筒井 啓介

■読むこと・書くことに慣れよう

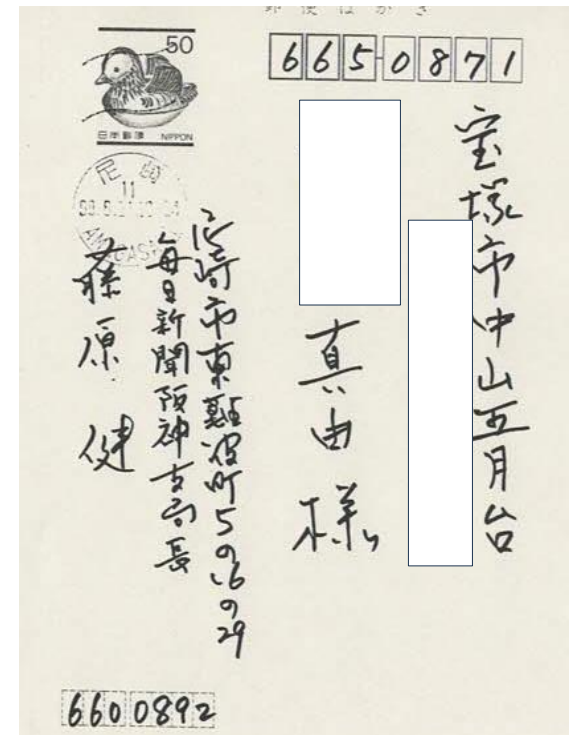
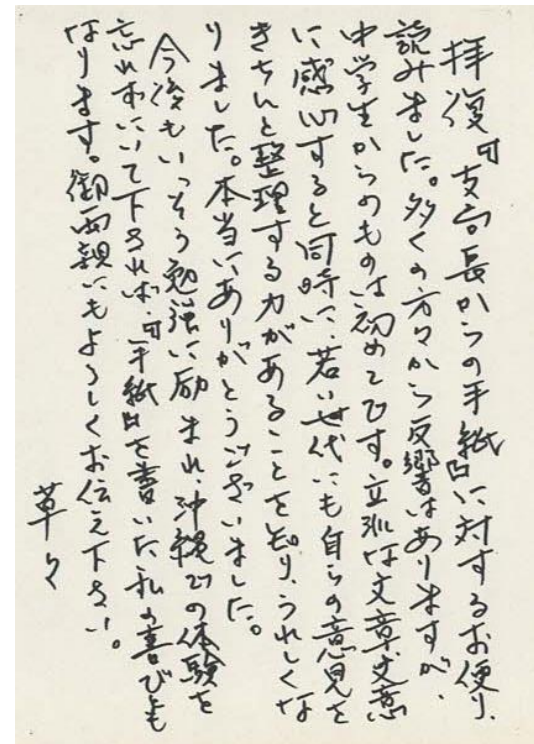
私は時々、担任の先生方をお願いして、皆さんが書いた行事の感想や作文を読ませてもらっています。その一番大きな理由は、皆さんが楽しく学校に通っているか、悩んだり困ったりしていることはないかを知るためです。その上で、何か一つでも参考にしてもらえらることをこの「学校通信」や「生徒朝礼」で伝えたいと思うからです。

ところで、皆さんは、文章を読んだり書いたりすることは好きですか? 読むのは好きだけど、書くのは苦手という人が多いのではないのでしょうか。そこで、下記に「読むこと・書くこと」に関する取り組みの一例を紹介するので、参考にしてもらえると嬉しいです。

私が教師になって7年目の4月、担任する3年生の生徒に向けて、「**文章を読んだり、書いたりする力は生きていく上で必要な力であること**」「**読む力・書く力は国語だけではなく、数学や理科など他の教科にも繋がりがあること**」「**高校入試(推薦・特色選抜)で論文を書いたりする時に役立つこと**」を話しました。そして、その力を付けるために、「**まずは短くて読みやすい文章(新聞の読者投稿や特集記事など)を継続して読み、感想をノートに数行でもいいから書いてみよう。書いた文章は家族や友人に読んでもらう**」と呼びかけました。そして、短い文章を書く経験を積むために、毎日の終礼で「一日の出来事」を全員に書いてもらい、学級通信で紹介するようにしました。

6月になり、一人の女子生徒が私のところに来て「先生、私が書いた手紙が新聞記事になったよ」と嬉しそうに話してくれました。この生徒によると、私の話を聞いてから新聞を読むようになり、読んだ感想をノートに書く習慣をつけていたのです。そして、一定の文章が書けるようになってから、修学旅行で学んだ沖縄戦についての思いを手紙に書いて新聞社に送ったところ、支局長の目にとまり、記事になったのです。あくまでも、私のクラスでの一例ですが、この生徒にとって「読むこと・書くことに自信が付き、それが楽しさに繋がった」のではないかと思います。

西谷中生の皆さんにも「読むこと・書くこと」に慣れるためにも、短い文章からでいいので、読んで感じたことを書く経験をたくさん積んで欲しいと願っています。(家庭で新聞を購読していなくても、図書館に新聞はあります。ネットでも無料で読める記事もありますので参考にしてください)



毎日新聞 阪神支局長からのお礼状